

意見書第15号

特別養護老人ホームの早期の建設促進を求める意見書

介護保険制度（法施行2000年4月）が始まって10年になる。介護保険施設の不足や介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所待機者の増大が大きな問題になっている。

厚生労働省は2009年12月、特別養護老人ホームへの入所を希望している待機者が、愛知県で9,203人いることを公表した（2008年度末の入所定員総数は18,373人（愛知県資料））。

愛知県高齢者保健福祉計画は、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の整備目標として、必要入所定員総数を2011年に20,184人（3年間で1,651人増）としているが、これでは、急増する入所待機者やその家族など介護者の期待に見合っていない。しかも愛知県は、65歳以上人口当たりの特別養護老人ホームの施設数が全国で最も低い状況（最高の県の半分以下）にあり、入所定員数そのものが不足している。

様々な事件が起こっているように介護問題は深刻である。愛知県に、入所待ちの県民の期待に応え、特別養護老人ホームの早期の建設促進を要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年9月24日

愛知県武豊町議会 議長 小山茂三

【提出先】
愛知県知事